

L'espace String Quartet

~WITH II~

GUEST 関本昌平 (PIANO)

2016年 9月 28日(水)

名古屋 電気文化会館 ザ・コンサートホール

開場 18:30 開演 19:00

全席自由 3000円

学生 1000円(高校生以下)

PROGRAM

- | | |
|----------|--------------------|
| ハイドン | 弦楽四重奏曲 作品 64-4 |
| メンデルスゾーン | 弦楽四重奏曲 第5番 作品 44-3 |
| ブラームス | ピアノ五重奏曲 作品 34 |



主催 横浜室内楽倶楽部

後援 名古屋市教育委員会/中日新聞社

(株)阿合楽器製作所 中部支店/一般社団法人全日本ピアノ指導者協会

お問い合わせ TEL&FAX 03-5497-3660

(横浜室内楽倶楽部 留守番電話)

電気文化会館(052-204-1133) カワイ名古屋(052-962-3939)

E-mail lespace.eq2014@gmail.com

レスパス弦楽四重奏団 HP

<http://lespaceeq.wix.com/2014>

PROFILE

レスパス弦楽四重奏団 *L'espace StringQuartet*

桐朋学園の仲間です。2011年結成。2014年より現在のメンバーとなる。フランス語で「空間」を意味するカルテット名には、今ここにしかない空間で4人の個性が奏でる生の音楽を楽しんで欲しいとの思いを込めている。

新潟での東日本大震災チャリティコンサートを皮切りに、東京・長崎・鳥取・山梨・神奈川・佐賀・福島など、全国各地で演奏会を開催。演奏の合間に作曲家のエピソードや曲の背景を紹介し、親しみやすい演奏会と好評を得ている。また、国内各地の学校でアウトリーチ演奏会を行い、子供たちに室内楽の魅力と音楽の力を伝える活動にも積極的に取り組んでいる。

結成時に桐朋学園富山室内楽講習会で東京クワルテット等に師事、2014年9月、サントリーホール室内楽アカデミー第3期フェローカルテットに選抜され、とやま室内楽フェスティバルで国際的に著名なピアニスト若林顕氏とピアノ五重奏を共演。サントリーホール チェンバーミュージック・ガーデンでは、フランスを拠点に活躍中のピアニスト児玉桃・ヴァイオリニスト竹澤恭子両氏とショーソンのコンセルを共演。今春、シンガポールにて Yong Siew Toh Conservatory of Music のカルテットと、武満徹の *Le Son Calligraphie* を共演。

1st Violin 鍵富弦太郎



12歳で新潟市民芸術文化会館開館記念ガラコンサートにて、秋山和慶指揮、東京交響楽団と共演し、ソリストデビュー。2002年、小澤征爾氏にソリスト指名を受け、共演。学生音楽コンクールを始め、幼少より様々なコンクールを制覇し、2003年、第72回日本音楽コンクール第1位、レウカディア賞、鷺見賞、黒柳賞受賞。高校在学中にCD「ヴィヴァーチェ」「歌いだした鳥」をVictorよりリリース。ドミトリー・キタエンコ、岩城宏之、飯森泰次郎、高関健氏らの指揮で、数々の国内著名オーケストラと共演。サントパテルブルグ音楽祭(ロシア)に招聘され、また国際交流基金よりカナダ5都市に派遣されるなど、国際的にも活躍中。

Viola 福井萌



3歳よりヴァイオリンを始める。名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、愛知県立芸術大学音楽学部卒業。大学卒業と同時にヴィオラに転向。桐朋学園大学院大学、桐朋オーケストラアカデミーにて研鑽を積む。第17回KOBE国際音楽コンクール優秀賞、神戸市民文化振興財団賞受賞。PMF2013、MMCJ2014、パプロ・カザルス音楽祭等、国内外の様々な音楽祭に参加。サントリーホール室内楽アカデミー第二期フェローとして、サントリーホールチェンバーミュージック・ガーデン、とやま室内楽フェスティバル等に出演。これまでにセントラル愛知交響楽団、カルテット・エクセルシオ、若林顕氏、パシフィカ・カルテット、クス・カルテットらと共演

2nd Violin 小形響



5歳より桐朋学園子供のための音楽教室にてヴァイオリンを始める。洗足ジュニア音楽コンクール 最優秀賞、大阪国際音楽コンクール エスポワール賞など受賞。大学在学中にNHK交響楽団のN響アカデミー満期修了、別府アルゲリッチ音楽祭5年連続出演。桐朋オーケストラアカデミー、Sランク修了。サントリーホール室内楽アカデミー第2期フェローとして、ハーブの吉野直子氏、フルートの佐久間由美子氏、パシフィカ・カルテットらと共演。平成25年度エコー新人・若手アーティストに対する文化芸術活動支援対象者。

3歳でピアノ7歳からチェロを始め、14歳より蓼科高原音楽祭に参加し、本格的に室内楽を学ぶ。FreshConcert2003新人演奏会出演、クラシック音楽コンクール 好演賞。ライナー・ジュニットサマースクールを受講し、ファイナルコンサートに出演。鍵富氏とのデュオ「Vox」による、青少年劇場〜ヴァイオリンとチェロの演奏会は、好評を得て8年目を迎える。2014年、ラフォルジュルネ新潟出演。現在、室内楽をメインにしなが、クラシックに限らず幅広い演奏活動に取り組んでいる。

Cello 湯原拓哉



L'espaceS.Q.写真: 池上直哉/サントリーホール

Special Guest

Piano 関本昌平



1985年生まれ。大阪府出身。国際コンクール初参加の18歳で、第5回浜松国際ピアノコンクール第4位。2005年、20歳で第15回ショパン国際ピアノコンクール第4位、第5回モロッコ国際音楽コンクール優勝。2004年桐朋女子高等学校音楽科(共学)卒業後、2005年エコー・ノルマル音楽院卒業(ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生)。2006年~2008年桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースに在席。稲垣千賀子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、二宮裕子の各氏に師事。国内では、幼少よりピティナ・ピアノコンペティションに参加、1995年~2001年B級金賞、C級銅賞、D級銀賞、E級銀賞、G級金賞、コンチェルト部門最優秀賞受賞、2003年特級グランプリ受賞および第1回福田靖子賞受賞。ショパン国際コンクール in ASIAにて、2000年中学生部門および2005年第2回派遣コンクールいずれも金賞。ヴェルビエ音楽祭アカデミーコンサート(スイス)、アニマート音楽祭(パリ・コルトーホール)、NYカーネギーホールにて2000年ワイルリサイタルホール、2005年ザンケルホール、2006年アイザック・スターンホールでの"THE PASSION OF MUSIC"コンサートに参加他、イタリア、ドイツでソロリサイタル、ロンドン・カドガンホールにてイギリス室内管と共演。国内では、ワルシャワ国立フィルやモンテカルロフィルとの国内ツアー、ザルツブルク室内管、兵庫芸文センター管、関西フィル、日本フィル、読響、NHK響、大阪フィル、日本センチュリー響等と共演。第8回松方ホール音楽賞大賞、第15回青山音楽賞新人賞、第32回日本ショパン協会賞を受賞。CD「ショパン作品集」(ALM Records)、「ショパン国際コンクールライブ」(Victor Entertainment)をリリースした。2009年よりNYに移住、ソロや室内楽など研鑽を積む。特にクラリネットのチャールズ・ナイディック氏から大きな影響を受けた。2012年、本格的なソロアルバムとなる「グレイパール〜ブラムス後期作品集」(Sony Music Direct)をリリース、朝日新聞他で取り上げられた。2013年、NYのベテラン、オライオン弦楽四重奏団とNY・東京他で共演し、好評を得た。また、テレビ朝日系「題名のない音楽会」や、第32回横浜市招待国際ピアノ演奏会に出演。現在、NYより日本へ拠点を移し、岐阜県在住。後進の指導にも熱心で、全国各地のセミナーやマスタークラスに招かれている。

2014年4月より、金城学院大学非常勤講師・名古屋市立菊里高等学校音楽科非常勤講師に就任。